

2020. 10. 18

六角橋教会

週報

牧 師 加 山 真 路
牧 師 佐 藤 栄 一

† 聖日 礼拝 前11時

奏楽 (司会) 最勝寺真美姉
高殿成子姉

招詞 詩編 95編7節

讚美歌 一四 (1、3節)

主の祈り 九三 (5A)

交誦詩編 二六

信仰告白 (使徒信条) 二八

讚美歌 二八

祈禱書 サムエル記下6章1〜5節

説教 マルコによる福音書15章16〜21節

讚美歌 二八〇

「無理に担がせられた人」

佐藤栄一 牧師

祈禱 四四一

讚美歌 四四一

献金 二七

祝禱 二七

報告

§ 今週の集会

日曜学校 18日前9時

祈禱会 21水前11時(佐藤牧師)

合同埋葬式 24土前11時(教会墓所)

滝波道子・寺坂孝雄・佐藤美香 埋葬

阿部聖子 (分骨)

◆ 今日のお花のご奉仕は、奥居洋子姉です。

* 今週の会堂掃除

今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。どうぞよろしく

お願いいたします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

△ 礼拝当番▽

(今週)

(次週)

(当番役員)

三枝 京子姉

三橋 宣子姉

岡本 裕兄

澤村 成兄

小倉 薫姉

坂井美智子姉

小田嶋 薫姉

溝井 恵子姉

西田 晴重兄

※ 10月18日の「分散礼拝」は(全員名簿の)「港区・「県内」の方々です。分散礼拝は、今年いつばい(12月27日)まで継続することが、役員会で決まりました。

* 第70回教育週間(10月18日～25日)

今年もテーマは「とあ、つながろう」。日曜学校では、主題聖句「平和のみずすなで結はれて、聖霊による一致を保つように努めなさい」(エフェソの信徒への手紙4章3節)によって、家庭懇談会の礼拝をし、その後、オリエンテーションと懇談の時を持ちます。また、特別献金をささげ、NCC教育部に送ります。献金袋が1階の日曜学校の状態しにありますので、どなたでも自由に捧げてください。

なお、この教育週間は、『良い実』が発行されます。日曜学校の取れたての実りがたくさん♪

よくお読みになり、引き続き日曜学校の働きのためにお祈りください。

* **予告** 永眠者合同記念会

11月1日(日)午後1時半からです。申し込みは

25日(日)までですが、先週お配りした申し込み用紙に、コロナ対応を考えた趣旨や申し込み方法について書かれていますので、どうぞよくお読みください。

当日の礼拝も、ライブ中継および録画配信を予定していますので、くれぐれも「無理なきよう」。

* 「みんなの交わり」シャローム」

「クリスマス問安カード」のお願い

3月末から、例会や委員会を開くことができなかつた「シャローム」ですが、9月に新委員を募り、新たに活動を再開。と言っても、聖研やこの頃の私、それに訪問は、このコロナ禍ではまたまた無理…。でも、このような中であっても、互いの交わる力を強め、深めることはできるはずと考えました。そして、教会に集まらなくても関わっていた「クリスマス問安カード」に力を注ごう、ということになりました。

コロナ禍だからこそ、お互いへの思いを深くしたい。そういう願いを込めて、「シャローム」ならでのこの行事を、今まで以上に充実させていきたいと思っています。詳しいことは、別紙をご覧ください。

なお、同じく例年の活動(平日シャロームや教会訪

問)がかなわなぬ牧会委員会も、「互いに離れていても深い交わりを美感できる」喜びの教会が「らしい」この働きを全面的に応援しています。

*** 日曜学校『カードサンタ』のお願い**

日曜学校のクリスマススプレゼントも、やはり「言葉の贈り物」です。また今年も、コロナ禍のために、降誕日礼拝後に中高科祝会が持てませんので、中高生にも「言葉の贈り物」を届けたいと思います。カード総数が増えますので、ぜひ「言葉のサンタ」になつてください。初めての方、大歓迎です。経験者は、(余裕があれば)ぜひ枚数を増やしてください。もちろん一枚でもかまいません。

なお、お申し出の締め切りは、11月1日(日)となります。何かおわかりにならないことがあれば、日曜学校教師まで、気軽にお問い合わせください。

*** クリスマスの係**

クリスマス委員会のもとに、係が選出され、いよいよ始動。コロナ禍の中だからこそ、「静かに、深く」味わう、六角橋教会ならではのクリスマスにしてい

ましよう。

◆ 信愛塾への献金をしました―多国籍の在日外国人のために、さまざま活動をしている信愛塾。その功績が認められ、この数年間で神奈川県と横浜市などからさまざま賞を受賞されています。

◆ 「寿バザー」と「海員宣教活動」のために献品を！

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、5月の募集は見送りましたが、収束が見通せない中、厳しい冬を迎えざるを得ない方々に少しでも必要なものを届けたいと思い計画しました。

教会も分散礼拝を余儀なくされている時期ですが、募集期間を長くして、なるべくたくさんの方々の協力を頂きたいと思っています。

① 寿地区センターの「冬の炊き出し・バザー」

・食料品(米、缶詰、乾麺、乾物類等々)、

バザー用に男性用冬物衣料

・その他日用雑貨(石けん、歯ブラシ、歯磨き粉等)

※ 衣類は新品でなくても構いませんが、洗濯し

て「自分で」まだ着られる」と思われるものを
お願いします。

・また、今回は、期間中募金箱を置いて献金の協力も
お願いします。(募金箱は、いつも事務室に置いて
ありますので、「自由にお持ちください」)

・期間 10月11日(日)～12月9日(水)午前中

・仕分け・梱包 9日午後1時～

花壇の係り 「ひつじぐさ」他有志

連絡係：蒔豊子、小倉薫

② 併せて、加山牧師が関わる教区海員宣教協力委員会
が呼びかけている海員(船員)のためのクリスマスプ
レゼントも募っています。このコロナ禍で、いつも以
上に寂しい思いを募らせている船員が多いので、とて
も喜ばれるそうです。

♪ 詳細は掲示板をご覧ください ♪

※ 横浜市におけるカジノを含む統合型リゾート施設
(IR)誘致についての住民投票を求める署名

今日は港北区在住の方に呼びかけています。1Fホ
ールにて。(選挙権のある18歳以上の方。自筆で要押
印。指印も可です。)

* 前週の報告

聖日礼拝 男 女 計 (求) (献金)
16 37 53 (4) 三九、一一〇円

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

〇四五(四三三)〇六九四

FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会

（サムエル記下6章1〜5節）

- 1 ダビデは更にイスラエルの精銳三万をことごとく集めた。
- 2 ダビデは彼に従うすべての兵士と共にバアレ・ユダから出發した。それは、ケルビムの上に座す万軍の主の御名によつてその名を呼ばれる神の箱をそこから運び上げるためであつた。
- 3 彼らは神の箱を新しい車に載せ、丘の上のアビナダブの家から運び出した。アビナダブの子ウザとアフヨがその新しい車を御していた。
- 4 彼らは丘の上のアビナダブの家から神の箱を載せた車を運び出し、アフヨは箱の前を進んだ。
- 5 ダビデとイスラエルの家は皆、主の御前で糸杉の樂器、豎琴、琴、太鼓、鈴、シンバルを奏でた。

（マルコによる福音書15章16〜21節）

- 16 兵士たちは、官邸、すなわち総督官邸の中に、イエスを引いて行き、部隊の全員を呼び集めた。
- 17 そして、イエスに紫の服を着せ、茨の冠を編んでかぶらせ、
- 18 「ユダヤ人の王、万歳」と言つて敬礼し始めた。
- 19 また何度も、葦の棒で頭をたたき、唾を吐きかけ、ひざまずいて拝んだりした。
- 20 このようにイエスを侮辱したあげく、紫の服を脱がせて元の服を着せた。そして、十字架につけるために外へ引き出した。
- 21 そこへ、アレクサンドロとルフオスとの父でシモンというキレネ人が、田舎から出て来て通りかかったので、兵士たちはイエスの十字架を無理に担がせた。